

別添 4

甲賀保健所管内における企業の外国人結核患者発生時対応の現状と課題分析について

大井 恭子 滋賀県甲賀保健所、下内 昭 結核予防会結核研究所

目的：甲賀保健所管内では全結核登録患者に占める外国人の割合が 35%(7/20, 2010 年 8 月末現在)と高く、当該保健所の課題の特性として積極的に取り組むために、患者発生および治療を取り囲む環境の情報を得る。

方法：A 企業の職員の福祉担当者に聞き取り調査を行った。

背景：A 企業では 2010 年 9 月現在、中国人研修生を 66 名受け入れており、研修期間は 3 年である。

健診体制：(1)入国前健診：中国にて、中国の病院に委託し健診を実施、(2)入国後 1～2 週間後に健診を実施、その後は(3)年 1 回定期健診。(4)さらに雇用 1 年後からは夜勤が入るため、半年 1 回定期健診を実施している。

保険：健康保険および傷害保険（ジツコ保険）

ジツコ保険とは・・・初診～半年間の医療費対象、300 万円上限として、受診時の交通費（バス、電車代）も支給対象となる。ただし、自費診療分は対象外である。

患者発見および治療：来日後の定期健診で結核と診断されたが、診断時、症状はなく、排菌もなかったため、6 か月の外来治療で治療を完了した。また上記の傷害保険により、医療費の患者負担はなかった。

企業内での結核患者発生時の検討内容

- ① 解雇・帰国について・・・3 年間の研修に耐えられなければ、また、他の職員に感染させるおそれがあるなら解雇・帰国もしかたがないかもしれない。
- ② 入院が必要となったときに、身の回りの世話ができるか。言葉の面でも支障があるのではないかと懸念した。
- ③ 職場への対応・・・職場で結核患者が発生したことは一部の管理職しか知らない。排菌をしておらず、感染性のない今回の症例では、職員に周知することで、不必要な不安感をあおることを懸念したため、一部の管理職だけに周知した。勿論、感染性がある患者が発生した場合は接触者健診を実施しなければならないため、関係者には周知しなければならない。
- ④ 企業から保健所に連絡があり、上記について助言をしたため、適切な患者支援がなされた。

患者の治療支援

企業内で検討をしたのち、患者の治療については不必要に公表されず、事務からの服薬支援を受けて外来治療を完了した。なお、患者は毎日昼食時に服薬状況を担当者に報告した。

考察

本事例においては、A企業が十分な健診体制をとり、保険も完備されていたため、患者負担がなく、研修に支障もなく、治療を完了した。従って、このような理想的な事例を広く知らしめるために、母国の結核罹患率が日本よりも高い外国人を雇用している企業では、結核患者早期発見および患者支援のための結核感染対策マニュアル（A4、1枚程度）作成が望まれる。

そのために行政として、以下の活動を提案する。

管内外国人雇用企業に対して、健診体制、保険加入状況について聞き取り調査を行う。

管内企業に雇用されている外国人に対して、有症状時受診行動を起こすための聞き取り調査を行い、その結果に基づいて、結核に関する健康教育チラシを作成する。

また、今後、外国人が有症状時に早期に受診できることを目標とする。

そのために、チラシを翻訳、印刷し、管内外国人雇用企業および管内大手企業（地域職域連携事業メンバー）に配布する。また、その他の外国人のコミュニティ（教会、集会所等）へ配布する。さらに、外国人や企業のチラシに対する反応を確認する。

外国人雇用企業における外国人結核対策について

Tモデル（入国後2週間までに入国時健診実施、定期健診実施、傷害保険加入、患者発生時の保健所との連携および患者の治療支援）を管内外国人雇用企業に周知する。

そのために、各企業での結核感染対策マニュアル（A4、1枚程度）作成を行い、健診から患者発生時対応まで簡単に記載する。また、保健所と企業は、外国人結核患者が日本にいる間に治療終了できるように治療支援のための必要なサービスの提示や関連団体での連携を行うことを明示する。

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
阿彦忠之 森 亨 石川信克	阿彦忠之	感染症法に基づく結核の接触者健康診断の手引きとその解説(平成22年改訂版)	(公益財団法人)結核予防会	東京	2010	全105頁

論文発表

著者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yamada H, Mitarai S, Chikamatsu K, Mizuno K, Yamaguchi M	Novel freeze-substitution electron microscopy provides new aspects of virulent <i>Mycobacterium tuberculosis</i> with visualization of the outer membrane and satisfying biosafety requirements	J Microbiol Methods	80	14 - 18	2010
Ando H, Mitarai S, Kondo Y, Suetake T, Sekiguchi JI, Kato S, Mori T, Kirikae T	Pyrazinamide resistance in multidrug-resistant <i>Mycobacterium tuberculosis</i> isolates in Japan	Clin Microbiol Infect	16	1164-1168	2010
Murase Y, Maeda S, Yamada H, Ohkado A, Chikamatsu K, Mizuno K, Kato S, Mitarai S	Clonal expansion of multidrug-resistant and extensively drug-resistant tuberculosis, Japan	Emerg Infect Dis	16	948-954	2010
Maeda S, Wada T, Iwamoto T, Murase Y, Mitarai S, Sugawara I, Kato S	Beijing family <i>Mycobacterium tuberculosis</i> isolated from throughout Japan: phylogeny and genetic features	Int J Tuberc Lung Dis	14	1201-1204	2010
Ando H, Mitarai S, Kondo Y, Suetake T, Kato S, Mori T, Kirikae T	Evaluation of a line probe assay for the rapid detection of <i>gyrA</i> mutations associated with fluoroquinolone resistance in multidrug-resistant <i>Mycobacterium tuberculosis</i>	J Med Microbiol	60	184-188	2011
近松絹代、水野和重、青野昭男、山田博之、菅本鉄広、西山裕之、御手洗聡	GenoType [®] MTBDRplusによる多剤耐性結核菌同定に関する検討	結核			<i>in press</i>

伊藤邦彦	米国における結核医療の総合病院への統合	結核	85(7)	615 - 630	2010
伊藤邦彦	治療に非協力的な結核患者への法的強制力	結核	86(3)		印刷中
重藤えり子	連携パスによる地域DOTSの展開	結核	84(6)	761-76	2009
重藤えり子	結核治療開始マニュアルと医療者用連携パス	保健師と看護師の結核展望	94	8 - 13	2009
重藤えり子、永田容子	第84回総会シンポジウムⅢ 地域DOTSの課題と今後の展望	結核	85	179 - 189	2010
疫学情報センター	結核年報2008 Series 7.診断時病状(2)	結核	85	495-498	2010
疫学情報センター	結核年報2008 Series 8.治療(1)	結核	85	561-564	2010
疫学情報センター	結核年報2008 Series9.治療(2)	結核	85	643-646	2010
疫学情報センター	結核年報2008 Series10.治療成績と死亡	結核	85	643-646	2010
星野齊之、大森正子、岡田全司	就業状況別の在留外国人結核の推移とその背景	結核	85	697-702	2010
大森正子	第85回総会シンポジウムⅢ.高齢者結核の問題点 1. 高齢者結核	結核	85	882-884	2010
疫学情報センター	結核年報2009 Series1.結核発生動向調査速報	結核	86	127-130	2011
疫学情報センター	結核年報2009 Series2.外国人結核	結核	86		2011年4月号掲載
疫学情報センター	結核年報2009 Series3.小児結核	結核	86		2011年5月号掲載
疫学情報センター	結核年報2009 Series4~10	結核	86		掲載許可受理
大森正子、伊藤邦彦、内村和広、山内祐子、下内昭、吉山崇、御手洗聡、石川信克	地域別結核患者の薬剤耐性率結果における結核サーベイランスシステムの有用性の検討ー薬剤感受性率の代表制の観点から	結核	86		掲載許可受理.
松本健二、三宅由起、有馬和代、他	潜在性結核感染症治療状況の検討	結核	85	791-797	2010

